

学校評価の結果について



● 子どもに関して.....

- 設問1の「学校生活の満足度」については、全項目中で一番高いA評価(77%)をいただきました。B評価の18%を含めると95%です。「健康でよく遊べます」の設問5もA評価71%、B評価21%と高い評価をいただいたことは、外遊びの奨励とPTAによる校庭開放の成果だと考えております。今後も都の子ども体力向上の取り組みを踏まえて、心身ともにたくましい子どもの育成に努めてまいります。
- 子どもに関する設問で最も数値が低いのが設問4の「伝える力」で、A評価が27%と全項目中一番低くなっています。この項目は昨年度と同じく低いため、本校の子どもたちの大きな課題です。国語の授業や総合的な学習の時間をはじめ、授業の中で発言・発表の場を多くするなど授業改善に取り組めます。また、特別活動など学校のあらゆる教育活動を通して、計画的に発表力・表現力を育成してまいります。

● 学校に関して.....

- 情報発信をはじめとする開かれた学校づくりや地域との連携を高く評価していただいています。今年度は学校支援地域本部「スクールサポート調布大塚」も発足し、低学年の高齢者との交流会や5年生のミシンボランティア・6年生のキャリア教育など保護者以外の地域の方々による授業の支援・協力が一層進みました。
- 一方、設問11の「学校施設の安全・環境」については、14%の方に十分ではないと回答をいただいています。ご指摘いただいたところをはじめ出来るところから環境整備に努めてまいります。また、設問10の「学校の課題・問題に対する対応」も否定的な評価が12%ありました。課題・解決の解決には、適切な初期対応・教職員間の共通理解・役割を明確にした協力体制が大切だと考えています。児童や保護者の声に大切にしながら、一つ一つの課題に学校組織として取り組む体制をより充実させていきます。

● 教員に関して.....

- 教員の指導に関しての設問7・8・9は、A評価・B評価がほぼ半々で、両方合わせて90%近くの評価をいただき、教員の日々の授業・生活指導について高い評価いただいています。
- しかし、学級によって多少の数値の相違があり、教員の指導力が一様でないことも数値の上からも読み取れます。本校も他校と同様に教員の世代交代が進み、経験の浅い教員が増えています。さまざまな場面を通してベテラン教員の授業力・生活指導力を若手教員に伝えていくように工夫しています。また、学校外での専門的な研修を受講をすることで、一人一人の子ども力を伸ばせるように教員の指導力向上に努めます。

